

# 煙突式ストーブの高地設定方法

標高 1,000～1,500mの場所で使用する場合は高地調整が必要です。

## 高地設定の手順(設定変更モードの出しかた)

機種ごとに設定変更モードを表示させます。

	コントローラー 代表形式	形 式
使用型式	HR-FX65	HR-65A～C・T65A～B・K65A～B・ 650A～G・6500～01・T650F・ K650F・G650・G650H
手動運転中にコントローラー上の〔設定SW〕を【設定】側にして、〔運転ランプ〕が点滅した状態から〔時〕・〔分〕のボタンを同時に3秒間押しすると設定変更モードになります。モード変更は〔タイマー〕ボタン、設定値の変更は〔時〕・〔分〕のボタンを押すごとに変更できますので、下記の表を参考に設定変更を行ってください。設定変更後、〔設定SW〕を【通常】側に戻すと変更内容が確定されます。		

	コントローラー 代表形式	形 式
使用型式	HR-650K	HR-650K・V65M・G650K～L・G65M・ T650L・T65M・K650L・K65M
手動運転中に、〔時〕・〔分〕のボタンを同時に3秒間押し、デジタル表示部にマニュアル燃焼表示、バーナー温度表示がされた状態で、〔セーブ〕ボタンを5秒間押し続けると設定モードに入ります。モード変更は〔タイマー〕ボタン、設定値の変更は〔時〕・〔分〕のボタンを押すごとに変更できますので、下記の表を参考に設定変更を行ってください。設定変更後、〔セーブ〕ボタンを5秒間押し続けると設定モードは解除されます。		

## 高地設定の手順(設定変更モードの変更のしかた)

「設定変更モード」の「L2」と「L3」を「5」(デフォルト)から「1」に変更してください。

ただし、煙突の通気力(ドラフト)が高い場合は、炎の状態が悪くなることがありますので、炎の状態を見ながら設定値 1 から大きくして調節してください。

### ポンプ ON-TIME 変更モード A : 設定温度表示『L2』

#### 微少燃焼・弱燃焼時の燃費の設定

ドラフトが高いとき →

室温表示	1	2	3	4	5	6	7	8	9
燃費	-10.0%	-7.5%	-5.0%	-2.5%	±0%	+2.5%	+5.0%	+7.5%	+10.0%

### ポンプ ON-TIME 変更時モード B : 設定温度表示『L3』

#### 中燃焼・強燃焼時の燃費の設定

ドラフトが高いとき →

室温表示	1	2	3	4	5	6	7	8	9
燃費	-10.0%	-7.5%	-5.0%	-2.5%	±0%	+2.5%	+5.0%	+7.5%	+10.0%

### ドラフトとは？

燃焼に必要な空気を供給するために煙突を設けて、吸引力を利用する方法が古くから広く行われている。自然吸引力と送風機などによって生じるバーナーの空気出口の圧力差を「通風圧力」、または、「ドラフト」という。

外気温が低い場合は、ドラフトが高くなり、外気温が高い場合は、ドラフトが弱くなる。集合住宅の低階層で集合煙突を使用している場合は、単独で使用時に比べてドラフト値が上昇する。